

◆生々流転 I

大川に舫ふ一舟冬ざるる

加藤 孝治

人波の途切れて雨の三の酉

小泉 定弘

水蜜桃もろ手を濡らし剥きにけり

齊藤 錦

笹ずしの笹の小舟に今年米

鈴木 桂子

月影を踏んで高千穂里神楽

野口 人史

草々の湿りに沈み冬の蜂

増山 叔子

騙し絵にだまされてゐて日短か

古木 俊子

三年の重みしみじみ日記果つ

池田寿美子

紫の幔幕は濃し菊花展

柳田りつ子

木々の影作りては消す今日の月

山口林次郎